

# フレールベル自傳

(第八回)

(マイニンゲン大公に宛てたる書翰)

五十六、算術と圖畫

算術の教授の結果は私を驚嘆せしめました、而かも私はそれを更らに博大なる應用と廣汎なる範圍に導くことは出来ませんでした。

算術の機械的な法則は渦の中に入つたやうに私をぐる／＼と旋轉しました。

先生の名はクルエシでした。

算術の授業は數學界では華々しい結果を齎すにも係らず又兒童の識得力や理解力に依つて授業が華々しい結果を得るにも係らず私の個別的な趣味からいふとそれを公表することに於て餘りに積極的であり、それを受け容れることに於て餘りに機械的である何物かありました。而してヨシアス、

倉橋惣三譯

シユミツドも既に當時この教授法の不備を感じてゐました、彼は該問題に就てその後研究した第一原則を私に語りました、私は直ちに彼の考を賞讃してやりました、何故ならば私は彼の考へには多方面といふことを徹頭徹尾科學的な根據に基いてゐるといふことの二つの重要な特性があるといふことを認めたからであります。

圖畫の教授も亦甚だ不完全でありました、殊にその初歩の授業に於て然りでありました、けれども後期になつて課する練習の一つである種々の大きさの角柱を寫生させること、日常生活の實際物の形狀の理解を容易ならしむる所の他の數理的の形體を描くこと、は私にも領かれました。シユ

ミッドの方法は未だ現れてゐませんでした。

五十七、地理と博物學

自然地理に於て何處の學校でも課するやうな多くの彩色地圖を以てする方法は顧られませんでした。

トブレルといふ元氣のいゝ若い人がこの科の主任教師でありました。矢張この私も私には餘りに積極的な教授法を施して居りました。(註、フレールは積極的教授法を暗誦若くは結果を聞かざる

ゝことの意に使ひ居れり)この學科の始まりは殊に私には不愉快でした。それは生徒が海といふものゝ性質や廣さに就て何等の概念を作り得ないにも係らず、いさなり海底の記事を以て始るのです。

それでも授業は驚異を惹き起します、而して兒童の迅速なる口答に依つてなざるゝ印象を通じて不知不識の間にそれを覚えさせてしまふのです。

博物學では私は植物學を聞いたけでした、主任教師はホツプと云つて他の教師と同じやうに元

氣のいゝ若い人でした、その人も亦全學年に對してこの秋の教授案を立てゝゐました。彼に依つて整理され又提出された課程には優れた點が澤山ありました。例へば——葉と花の形狀、位置等を夫々に話す場合——彼は先づ級全體と彼との間の問答に依つて出来るだけ多く種々の形狀を集めます、次に彼は是等の中から彼等の身邊にある實物を撰び出して示します。

斯く興味裕かに施され又その効果も明かなるべきこの課業も實際の應用の上に行くゝ非實際的で役に立ちませんでした、私は前後矛盾の局面とでも名づけやうと思ふ位でした。

(後一八〇八年に再びイベルドンを訪れた時にはトブレルもホツプも最早そこにはゐませんでした)

五十八、ムスタロツチと其後輩と

獨逸語の教授方法には私は全然同情することが出来ませんでした、この方法は諸方の後期の學校

讀本に應用されたものではありません、

此所でも亦勝手な不生産的な教授法が一步毎に烈しく私に逆ひました。

唱歌は數學で教へられました。

讀書はベスタロツチの有名な「エー、ビー、シ」で教へられました。

〔備忘録——すべてこれは私の内にボンヤリと貯へられてゐました、その値打は自分にさへも分りませんでした、けれども私の智的位置はこれらの經驗を経過してもつと固定したものとなる傾向がありました。當時の私の状態に就ては出来るだけ正確に上に述べました、即ち得意であつたり、失望したり、生氣があつたり、張がなかつたりしたのであります。〕

ベスタロツチのこの偉大なる智的機關に依つてベスタロツチ自身が魂を奪はれ、心を亂されてしまつたといふことは彼が彼の意志、方案、目的に就て、何等の定説を示してゐないといふ事實に現

れてゐます。

彼は常に「進み自ら求めよ」(如何に見るべきか如何に聞くべきか、如何に知覺すべきかを知つてゐる人は自分で非常に都合がいゝ)「それは立派に働く」と言ひました。

ベスタロツチの愛すべき性質が私の心を得たと同じやうにすべての人の心を得ないといふことゝ又彼の性質が教師達をして生活及び智的勢力を熟慮せしめ、互ひに寄合つて、一つの聯合團體を作るやうにさせてしまつたといふことには驚きましたし、又理解することも出来ませんでした。

彼の朝夕の挨拶は、簡単な中に非常に情が籠つてゐました、而かも私はこの挨拶の中に後年起るべき不幸なる反目の徴かな兆候を既にその當時認めました)。

五十九、會心の職住

私は(一八〇五年)十月のなか央に長逗留をすべく出来るだけ早く歸つて來やうと決心してイベルドン

を去りました。

フランクフルトへ歸ると直ぐ私はコンシストリアムからの任命状を受取りました、(註、獨逸のコンシストリアムとは僧職會議の一種なり、國教の僧侶の全體より組織せられ宗教、教育者の統御の下に國內の教會及び學校の事業を監視す、學校設立者及び教師たらんとするものにはコンシストリアムの協贊を経ざるべからず)

私の瑞西からの歸省を待つて居た模範學校(これは事實に於て男子と女子との二つの學校であつたのです)の仕事といふのは全校に亘つての全然新なる課程と教授案との作成を手傳ふことでありました。

學校には男子の級が四五組あり女子の級が二三組ありました、全體合せると二百人近い兒童でした。職員團は學校に居る四人の教師と校外から通つて來る九人の教師とがありました。

私は學校の窮乏や現状や其處で與へられる教授

やらに就て熱心に思考して居りましたのでこの計畫の遂行を私達に課せられた條件の下に殆んど一手に引受けてしまひました。

私の作つた統一的組織は、教師達をして或る著しき個々の不便を感せしめ、又今までよりも多く教師達の時間を要求したのでしたが、當局者の賞讃を博したのみならず、長い間實際に行つてみて、學校組織にも、その効果にも、兩方ながらに非常に役に立ちました。

私の擔當することになつた教授科目は算術、圖畫、自然地理及び獨逸語でありました。

私は主に中の級なかを教へました。

兄に與へた手紙の中で私は九歳から十一歳までの男兒が三四十人集つてゐる級を始めて教へた時の印象を語りました、私は未だ見たことはない、併し常に懂れてゐる常に缺乏を感じてゐる何物かを發見したやうな心持がしてゐました。丁度私の生が遂にその天賦ネイチャーポイントの元行を發見したやうなもので

した、私は魚が水を得た如く、鳥が空氣を得た如く幸福に感じました。

六十、家庭教師となる

けれども私が私の生のこの方面の進展を追求する前に、私は人として、教師として將又教育者としての私の品性を進化させる上に適かに、重要であつた他の方面に觸れねばなりません、而してそれは事實直きにそれ自身の内に第一のものをも吸ひ込んでしまひました。

その後間もなく私の舊友が——この人に會ふために私はフランクフルトに來たのです——私をگریューネルに紹介してくれました。友は一人で家庭教師としての彼の以前の職業に戻つてゐたのでした。その後彼は（フランクフルトの）某家でその息子達のために家庭教師を探してゐるといふことを耳にしました、彼は直接その家族に私を紹介することが出来なかつたので手紙を以て紹介してくれました、而して私がイベルドンへ出掛ける數

週間前、彼は甚だ懇懃な辭令を以て、この家庭に私のことを書いてやりました。

教授と訓育とを要求されたのは、主に三人の息子に對してでありました。

彼等は私に會ひに來ました、而して彼等の個人的特性を聞いた後に、その結果として彼等のこれまでの教授、訓練が残りなく私に飲み込まれました、而して私は彼等の當來の教育に就て相談しました。

扱て對象としての教育には私は眞實のところこれまで何の思考をもしたことはありませんでした、而してこの問題は私を大なる當惑の中に投げ込みました、それにも係らずそれは答を要求しました、而しておまけに正確な答を要求しました。

六十一、メスタロツチに倣うて

是等の少年の生活や事件の中に私は私の少年時代に似た點を屢々發見しました、それは私が注意してゐると直き記憶に上つて來ました。それ故私

は私自身の生の發達及び教育的經驗に依つて、私に質たされた問に答へることが出來ました、而して痛切に感ぜられ、力強く現はされた私の答は、實際生活とは掛け離れたものでありましたけれども、眞實の極印を帯びてゐました。

それは兩親の満足を買ひました、而して教育——これまで私には主觀的ばかりあつた發達——は、今や私には際立つて苦痛な變化である客觀的形式を取るに至りました。

私が教育の仕事を言語で現し得る形式にするこゝとが出來るまでには、随分長くかかりました。

私は教育を知つてゐるのみでした、而して私は直接な個人的な接觸に依つて、教育することが出来るだけでありました。

私の天職と、私の生とが、今や私を呼んだ所の路に従つて、全力を盡して私はこれを修めました。

眞實のことを言へば私は家庭教師といふことは内心嫌氣がさしてゐるのでした。

私は不斷の故障と退引のつびきならなくなつたこの仕事の片々きれくな性質とを感じました、而してそこで私はそれは活力を缺いてはゐないかと疑ひました、けれども、私の蒙つてゐる恩寵と、殊に二人の少年の會釋する明かな、かゝやかしい友情に充ちた眸とは、一日に二時間宛是等の子供に授業を與へ、而して散歩を共にするといふことに私に決めさせてしまひました。

實際の教授は、算術と獨逸語とにある筈でした、算術の方は直きに手心が分りました、私は單にベスタロッチの課程に従つたに過ぎません、けれども獨逸語に對して私は大なる困難を感じました、私は當時否現今でも用ゐられてゐる正則な學校讀本を使つてそれを教へることから始めました。私は各の課業を出來るだけ心して教へました。

私は極く慎重な、又勤勉な態度を以て、知らないことは何でも研究しました。けれども是等の本の教授の仕方は私の努力を空しくしました。

私は私自身を進めるとも出来ませんでしたし、又私の生徒を進めることも出来ませんでした。

乃で私はベスタロツチの「母親讀本」を試みに採用することにしました。斯くて私達は餘程工合よく行くやうになりました、けれども、尙私は満足しませんでした。實際私は長い間、獨逸に於ける教育組織には、感心出来なかつたといふことを、申したいと思ひます。

#### 六十二、幸福なる生活

算術ではベスタロツチの小本の「諸單位表」を用ゐて私は瑞西で見たと同じ結果に。到達いたしました。私の生徒は、屢々質問の言葉が終らぬ中に、もう答の用意をしてしまひました。然かも、私は程なくこの教授法の缺點を發見しました、それに就て私は後に述べるつもりです。

私達が一緒に散歩に出た時は、私は兒童の生活に入つて行き、彼等を善い方へ感化して行かうと、努力しました。

私は再び私の少年時代の生活を、繰り返しましただけども、もつと幸福に繰返しました、何故ならば、私にはその生活の特異な方面も、普遍な方面も、よく分つてゐたからであります。

私のすべての思考も、仕事も、今や人の修養及び教育といふ題目にのみ、向けられてゐました。この時代の私の生活は眞摯に充ち、活動的發展に充ち、進取的修養に充ち、従つて幸福に充つるやうになつて來ました、而して模範學校に於ける私の生活は、私の生徒及び圖抜けて聰明な人々の集つてゐる優れた同僚のあつたために、甚だ向上的であり、且又、奮進的でありました。

#### 六十三、植物採集と地圖製作

街路から見た所では、さのみ廣いとも見えませんが、校舎の位置及び周圍は、ちよつとした中庭と、廣い花園とがありましたので、生徒は全く自由運動することが出來ました。而して中庭でも花園でも思ふまゝに遊ぶことが出來ました。

その結果として、教師は教へてゐる児童達の性格に親近する最上の機會を、これに依つて與へられました。而して教師はすべて一週間に一度づゝ生徒を散歩に連れて行くべしといふやうな規定が自から教師の側に出來上つてしまひました。

各教師は自分で最上と思つた方法を執りました、或る教師は散歩の時間を或る一定の問題を研究しながら過すことにしました、或る教師は偶然提へ得た問題に就て生徒を導きました。

私は大低私の生徒と植物採集をして歩きました、それから又地理の教師として私は是等の機會を以て生徒をして自身地球表面の諸部分の關係を闡明すべく思考させるやうにしました。

私は此文學の授業を斯くして得たる是等の知識に基いて行ひました、この知識を教授の緒として授業を始めたのであります。

フランクフルトの町は出發點でもあり又中心でもあつたのであります、此所から私は私達の觀察

を右に左に此方に彼方に進めて行きました。

私はメイン河をそのまゝ、基線に取りました、又小山や遠い山々の線を用ゐたこともあり、私は限界の四隅の方位をしつかりと定めて置きます、何事に於ても私は自然といふものゝ導くまゝに従つて行きます、而して適當な平地か砂地を選んでその上に斯くして得たる材料を以て直接に觀察して、その場所の圖を縮尺に依つて作り出します。

私の描いた圖(地圖)が皆の心に充分理解され、又よく印銘された時、私達はそれを學校で水平に置かれた黒板の上に再び描いてみます、地圖は最初教師と生徒とによつて作られます、次に各生徒はそれゝ練習として自身に作らせられます。

私達のこの地圖は視力の達し得る水平線の弧線に似せて圓形の境界線を待つてゐました。

#### 六十四、父兄の賞讃

學校の第二回公開審査に於て私はこの最初の企圖が不完全に充ちてゐたにも係らず出席の父兄か



ら非常な賞讃を贏ち得ました、而してそればかりでなく私の上官にも特別に稱揚されました。

すべての人は「それが眞實の地文學の授業の仕方である、兒童は先づ野原へ行く前に自分の家に就てすべてを知らなくてはならぬ」と云ひました。

私の兒童は町の周圍のことを家庭に於ける自分の室と同じ程度に詳しく知つて居りました、而して近隣のあらゆる自然的特徴に關して速かな又要を得た答を與へます。この遣方やりかたが私が後年完成した教授法の泉源でありました、私の教授法は今まで長年月の間用ゐられて來てゐます。

算術では私は下の級を教へませんでした、私は中の級を教へました。而して此所でも亦私の授業は喜ばしい讚辭を受けました。

圖畫でも亦私は中の級を教へました、この科の私の授業法は簡單な形狀から複雑な結合に進み、概略平面と立體を理解させ表現させることでありました。

私は成績調査の人々に充分満足を與へるやうな好成绩を得たことを喜ぶのみならず、私の生徒が愉快に熱心に個性を失はずに勉強してゐることを見てよろこびました。

私は女子部に於て初學級の一組に正字法レヒトシュライベンを教へることになつてゐました、この課業は普通この一科だけで他の科と合あはさつてゐることはありませんでしたが、私は正音法レヒトシュラフンと一緒にして授業しました。授業は多分不完全でしたらう、けれどもそれは教師にも生徒にも明かに興味を與へました、而してその結果は甚だ氣に入りました。

女子部の他の級に於て私は豫備描法を教へました、私た唯線を結合させることのみを生徒に課して居りました。けれどもこの方法は論理的に必要な連結に於て缺くる所がありました。それ故それは私の意に充ちませんでした。この授業の結果が調査されたか何うだかは今思ひ出せません。